



# 決算説明資料 -2024年3月期第2四半期-

証券コード：3666  
株式会社テクノスジャパン

2023年11月13日

LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE

～ つながる社会の未来を切り拓く ～

# 目次

---

1. 決算概要（2024年3月期第2四半期）
2. 業績見通（2024年3月期）と下期重点施策
3. 中期経営計画の進捗
4. 参考資料

# 1. 決算概要（2024年3月期第2四半期）

---

1	決算概要（2024年3月期第2四半期）
2	業績見通（2024年3月期）と下期重点施策
3	中期経営計画の進捗
4	参考資料

# 2024年3月期第2四半期決算エグゼクティブ・サマリ

売上高、営業利益は過去最高を更新

売上高

第2四半期累計として6期連続増収

6,403 百万円

・ 前年同期比 +25.0%

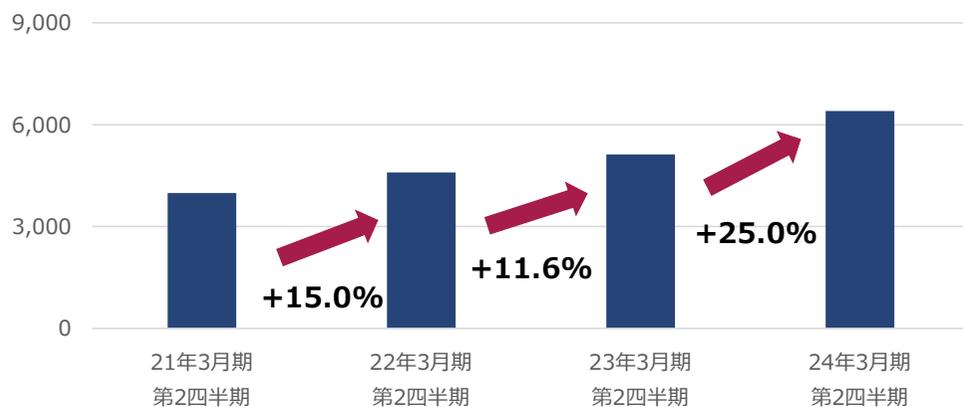
営業利益

前年同期累計比較で大幅増益

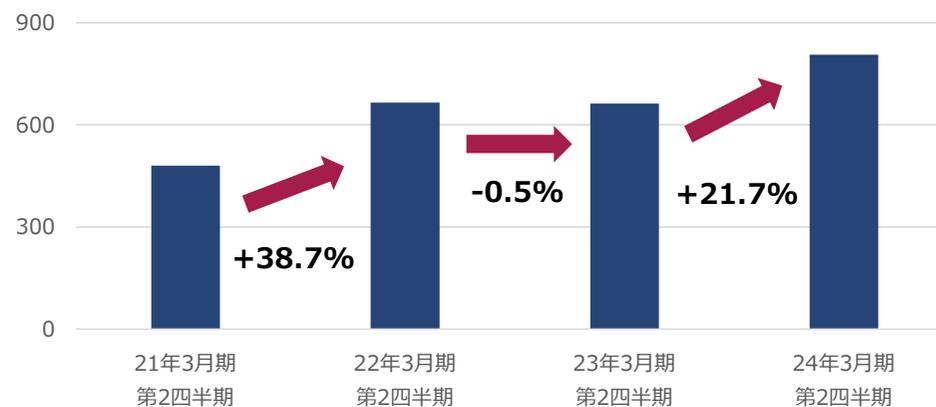
806 百万円

・ 前年同期比 +21.7%

第2四半期累計売上推移



第2四半期累計営業利益推移

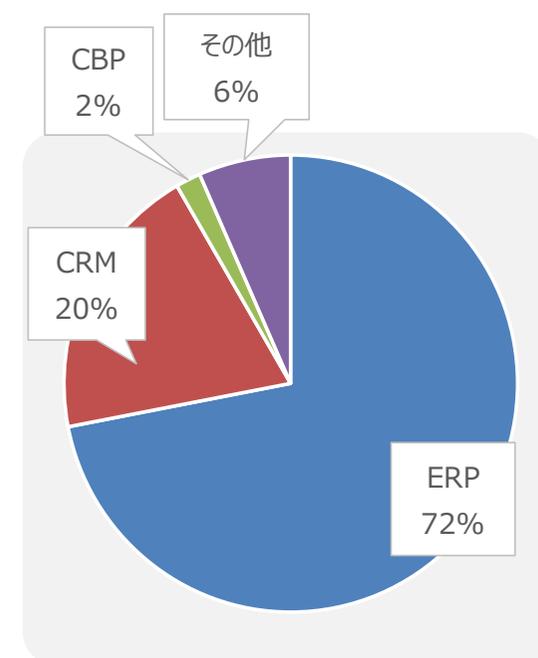


# 2024年3月期第2四半期決算 ソリューション・サービス別サマリ (1)

テクノスジャパンは、**ERP・CRM・CBP**のソリューション・サービスを組合わせて、お客さまの**DX**推進を支援する事業を展開

	領域	特徴	取り扱いソリューション・サービス
システム コンサルティング& インテグレーション	<b>ERP</b> エンタープライズ・リソース・プランニング  <b>基幹業務システム</b>	経営・生産・購買・在庫・販売・経理部門の「ヒト・モノ・カネ・情報」を計画・実行を統合管理するシステム	・SAP S/4HANA ・mcframe ・Oracle NetSuite
	<b>CRM</b> カスタマー・リレーションシップ・マネジメント  <b>顧客管理システム</b>	営業・サービス部門の「ヒト・モノ・カネ・情報」を管理し、顧客満足を高め、収益向上を図るシステム	・Salesforce
プラットフォーム	<b>CBP</b> コネクテッド・ビジネス・プラットフォーム  <b>企業間協調プラットフォーム</b>	企業間の「取引情報」を管理し、企業間のダイヤモンドチェーンとサプライチェーンの高度化を支援するシステム ERP/CRMの連携ソリューションとしても利用可能	・CBP

ソリューション・サービス別  
売上高構成



## 2024年3月期第2四半期決算 ソリューション・サービス別サマリ (2)

### 1. ERP

1. 旺盛な需要環境の下、売上・利益ともに成長

### 2. CRM

#### 1. (国内)

コロナ禍の旺盛な需要環境に一服感があり、売上・利益ともにマイナス成長、ビジネス再構築中

#### 2. (海外)

旺盛な需要環境の下、売上・利益ともに成長

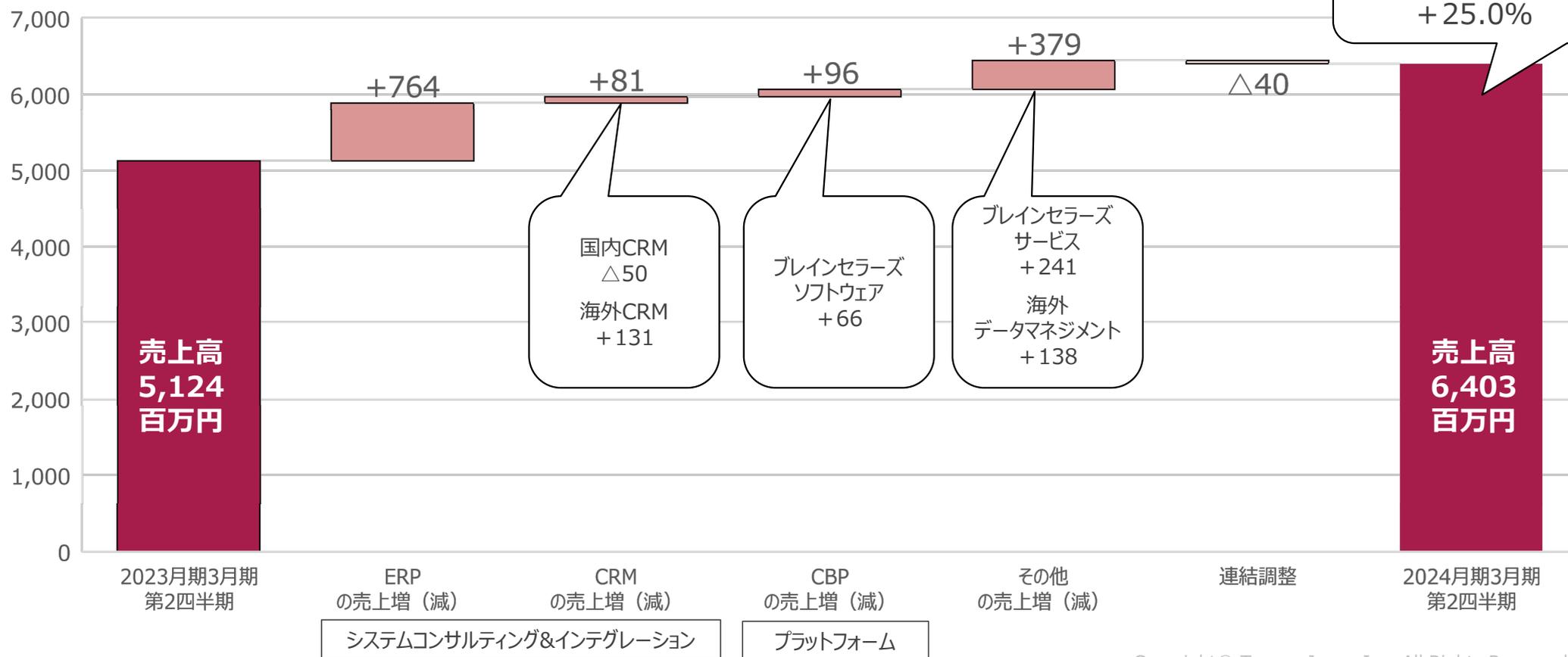
### 3. CBP

1. 顧客フィードバックによるサービス拡張で、計画よりも投資コスト増加

# 2024年3月期第2四半期累計 ソリューション別連結売上高増減要因

日本国内のERPおよび海外のCRM・データマネジメントが順調に成長

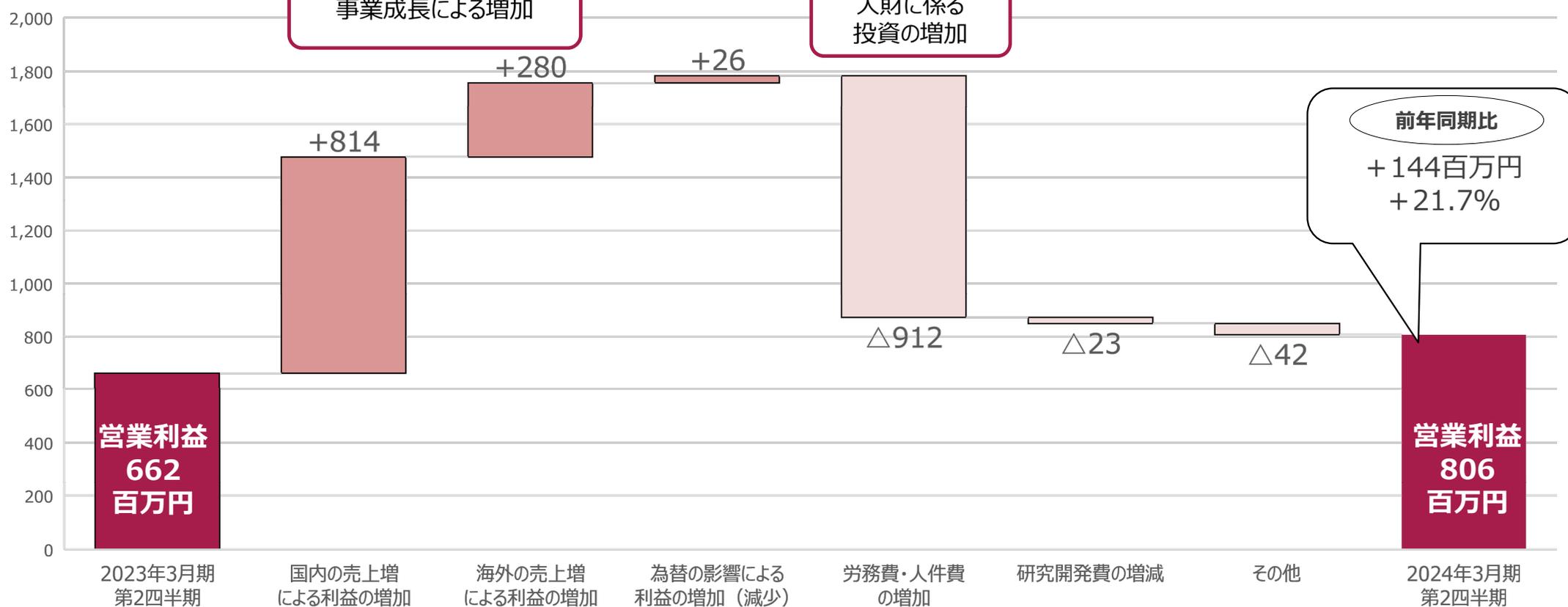
(単位：百万円)



# 2024年3月期第2四半期累計 連結営業利益増減要因

## 人財投資を上回る事業成長で営業利益増加

(単位：百万円)



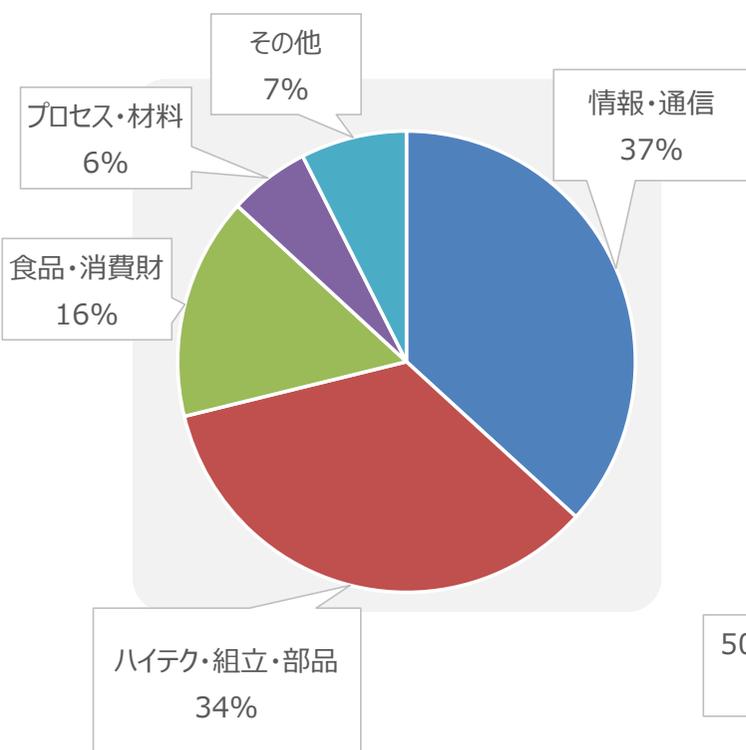
※2024年3月期よりブレインセラーズ・ドットコム社が連結対象に追加しております

※為替の感応度は、営業利益で円とドルの関係において1円の変動で1.9百万円を試算しております。

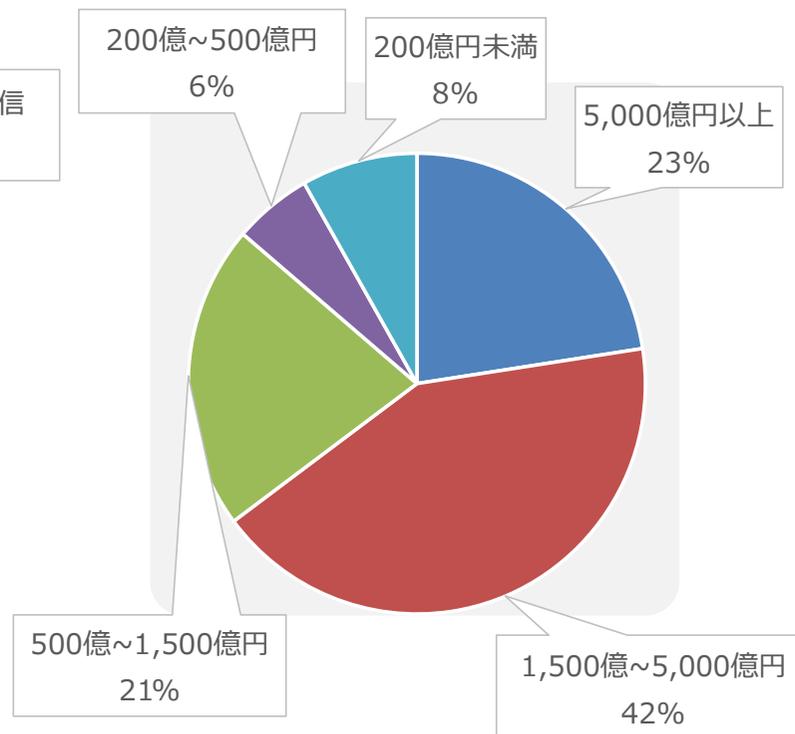
# 2024年3月期第2四半期累計 売上高構成状況

大手製造業・情報通信業のお客さまを中心にビジネスを展開

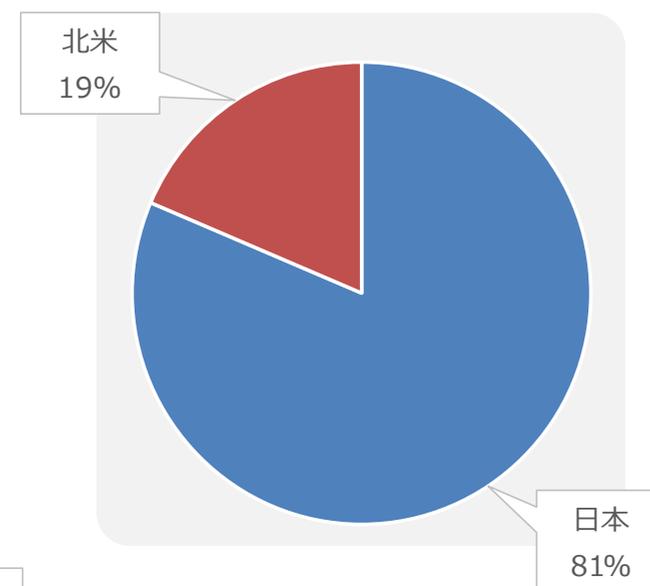
### サービス先業種別売上高構成



### サービス先規模別売上高構成



### サービス先地域別売上高構成



# 2024年3月期第2四半期累計 経営成績（連結）

（単位：百万円）

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期比		2024年3月期 上期計画	
	実績	実績	増減	増減率	計画	達成率
売上高	5,124	<b>6,403</b>	1,278	+25.0%	6,185	103.5%
売上総利益	1,550	<b>2,018</b>	467	+30.2%	—	—
（売上総利益率）	30.3%	<b>31.5%</b>	—	—	—	—
営業利益	662	<b>806</b>	143	+21.7%	716	112.6%
（営業利益率）	12.9%	<b>12.6%</b>	—	—	—	—
経常利益	705	<b>865</b>	159	+22.6%	728	118.8%
（経常利益率）	13.8%	<b>13.5%</b>	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	473	<b>863</b>	390	+82.6%	725	119.0%
1株当たり 当期純利益（円）	24.45	<b>45.00</b>	20.55	+84.0%	37.76	119.2%

※ 保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、第2四半期実績の当期純利益は大幅増となっております

この有価証券の一部売却に関連して、2023年9月26日に、2024年3月期の業績修正を発表しており、上記の上期計画値は、修正後の業績予想を記載しております

親会社株主に帰属する当期純利益 476百万円 ⇒ 725百万円

1株当たり当期純利益 24円80銭 ⇒ 37円76銭

# 補足：特別利益の計上

## 保有する投資有価証券の一部売却により特別利益を計上

### 投資有価証券売却の理由

資産効率及び財務体質の更なる向上を図るため

### 投資有価証券売却内容

- 売却株式当社保有の上場有価証券の一部
- 売却時期 2023年7月から2023年10月
- 売却益の額（上期実績） 393百万円
- 売却益の額（通期見込） 415百万円（予定）

  
2023年9月26日

各位

会社名 株式会社テクノスジャパン  
住所 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号  
代表者名 代表取締役 吉岡 隆  
(コード番号:3696 東証プライム)  
問合せ先 取締役 小林 希与志  
(TEL. 03-3374-1212)

特別利益の計上及び業績予想に関するお知らせ

当社は、保有する投資有価証券の一部売却により特別利益を計上することとなったこと、また、最近の受注動向等を踏まえ、2023年5月15日に発表いたしました業績予想の修正を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益（投資有価証券売却益）の計上

(1) 投資有価証券売却の理由  
資産効率及び財務体質の更なる向上を図るため

(2) 投資有価証券売却の内容

売却株式	当社保有の上場有価証券の一部
売却時期	2023年7月から2023年10月（予定）
売却益の額	415百万円（予定）

# 2024年3月期第2四半期 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2023年3月期末		2024年3月期第2四半期末			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	6,111	61.94%	<b>6,520</b>	68.21%	+ 408	現金及び預金 △ 648 売掛金及び契約資産 + 535 未収入金 + 529
固定資産	3,755	38.06%	<b>3,039</b>	31.79%	△ 715	無形固定資産 △ 35 投資有価証券 △ 691
資産合計	9,867	100.00%	<b>9,560</b>	100.00%	△ 307	
流動負債	2,693	27.30%	<b>2,260</b>	23.65%	△ 432	買掛金 △ 130 賞与引当金 △ 221 未払費用 △ 72
固定負債	609	6.18%	<b>474</b>	4.96%	△ 135	退職給付に係る負債 +24 繰延税金負債 △159
負債合計	3,303	33.47%	<b>2,735</b>	28.61%	△ 567	
純資産合計	6,564	66.53%	<b>6,824</b>	71.39%	+ 261	利益剰余金 + 566 その他有価証券評価差額金 △ 452 為替換算調整勘定 +121
負債・純資産合計	9,867	100.00%	<b>9,560</b>	100.00%	△ 307	
自己資本比率	65.7%		<b>70.2%</b>	—		

# 2024年3月期第2四半期 キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	主な増減要因
営業CF	△183	<b>△327</b>	△144	税金等調整前当期純利益 +550 売上債権の増減額 +138 仕入債務の増減額 △126 役員退職慰労金の支払額 △150 法人税等の支払額等 △177
投資CF	△28	<b>△108</b>	△80	投資有価証券の取得による支出 △100 出資金の払込により支出 +25
FCF（フリー・キャッシュフロー）	△211	<b>△436</b>	△224	-
財務CF	△578	<b>△296</b>	+281	自己株式の取得による支出 +302 配当金の支払額 △21
現金及び現金同等物に係る換算差額	78	<b>85</b>	+6	-
現金及び現金同等物の期首残高	2,873	<b>3,138</b>	+265	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,161	<b>2,490</b>	+328	-

# 従業員状況

積極的な人材採用およびM&Aにより、国内技術者は前年同期対比15%増

- 日本国内は、積極的な採用およびM&Aにより、2023年3月期上期はグループ全体で61名の技術者増  
⇒ 引き続き、日本国内では、積極的な採用を予定
- 海外は、今年度前半に、米国経済全体の景気後退リスクを想定して、計画的に採用を見送る方針にした影響で、技術者減  
⇒ 2023年3月期下期は、採用活動は徐々に増やしながら、採用対象者を絞り込んだ採用活動を予定

非財務情報	2023年3月期 期末累計（連結）	2024年3月期 第2四半期累計（連結）	前年度 期末比	
国内 従業員数	410人	476人	+66人 (+16%)	➤
内 技術者	348人	401人	+53人 (+15%)	➤
海外 従業員数	245人	240人	-5人 (-2%)	➡
内 技術者	233人	226人	-7人 (-3%)	➡
合計 従業員数	655人	716人	+61人 (+9%)	➤
内 技術者	581人	627人	+46人 (+8%)	➤

# トピック：市場区分移行

## スタンダード市場へ移行完了（2023年10月20日）

- 2023年10月20日にスタンダード市場への移行が完了

### （スタンダード市場選択の理由）

- ✓ 2023年3月末時点のプライム市場上場維持基準を満たしていない
- ✓ 株主・投資家の皆様に安心した環境を提供する
- ✓ 更なる成長に向けて、事業成長への投資を加速する

**当社の基本方針や取り組みは変更せず、  
持続的な成長と企業価値の向上に努める**

# トピック：テラスカイ社との資本業務提携

両社の強みを活かし、新たな顧客価値を創造する

- 製品ビジネスにおける協業
  - ✓ 両社ソリューション・サービス（CBP、mitoco、GLOVIA OM）の連携によるビジネス協業
- Salesforceビジネスにおける協業
  - ✓ 日本および北米市場におけるSalesforce導入および製品販売によるビジネス協業
- SAPビジネスにおける協業
  - ✓ SAP社のERP（S/4HANA）のシステムコンバージョン（移行）対応に関するビジネス協業（BeeX社との協業）



株式会社テクノスジャパン



株式会社テラスカイ

契約締結日：2023年7月26日

# トピック：MRI社・DCS社との業務提携

## 製造・流通業向けソリューション分野で業務提携

- 3社の異なる強みを活かし、製造・流通業市場において、関連ソリューションの相互展開、営業連携と併せ、DX事業拡大を目指す
  - ✓ CBPと連携した新たなソリューションサービスの展開
  - ✓ ERPの相互ビジネス連携強化・拡大

**MRI**  
三菱総合研究所

株式会社三菱総合研究所

**Tecnos**  
JAPAN

株式会社テクノスジャパン

**DCS**  
三菱総研グループ

三菱総研DCS株式会社

契約締結日：2023年10月31日

Copyright© Tecnos Japan Inc. All Rights Reserved.

# 株主還元

2024年3月期の配当は3期連続の増配を予定 配当16.0円（0.5円増配）

## 三方バランスのとれた利益還元施策

### 株主還元

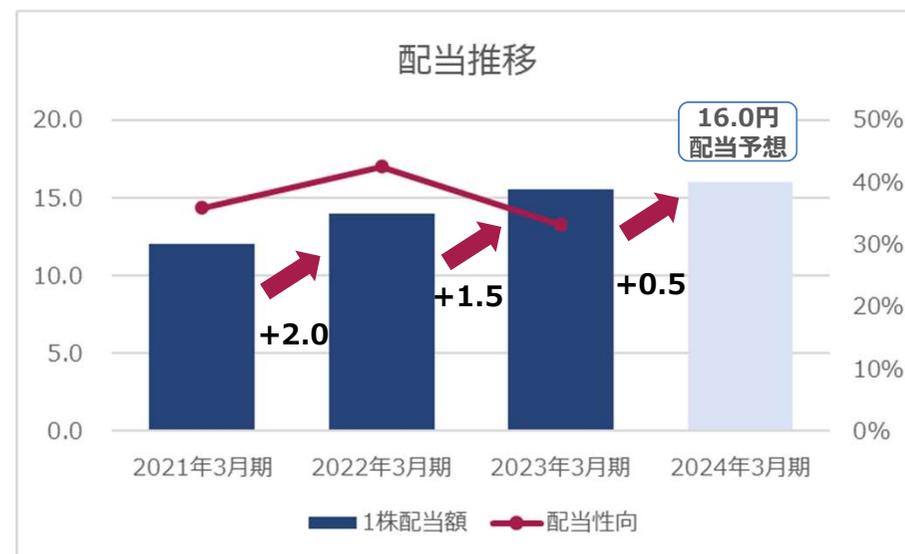
- 長期的に安定した株主還元
- 適正な配当性向確立
- 自己株式取得

### 成長投資

- CBPへの投資
- 成長を支える人財への投資

### 財務基盤

- 健全な財務基盤を維持
- 適切な自己資本比率



2024年3月期の配当額については、株主資本に対して配当金・株主優待を合わせて5%～5.5%を目安に配当して還元していく方針としています。

【2024年3月期の配当予想】 16.0円

当社配当方針に従い、2024年3月期は、前期から0.5円増配し、16.0円といたします。

## 2. 業績見通（2024年3月期）と下期重点施策

1	決算概要（2024年3月期第2四半期）
2	<b>業績見通（2024年3月期）と下期重点施策</b>
3	中期経営計画の進捗
4	参考資料

# 2024年3月期 業績見通し（連結）

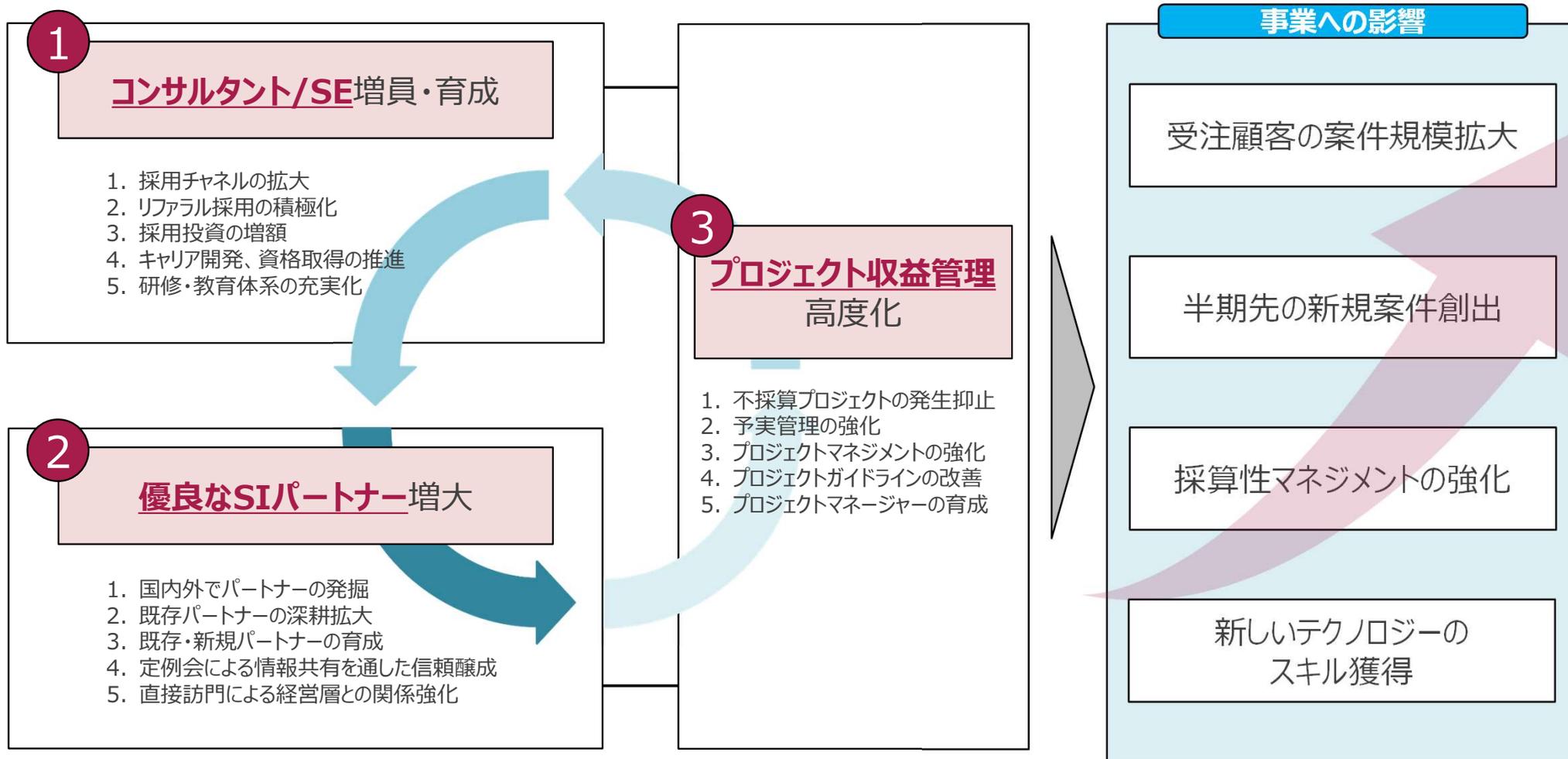
2024年3月期は引き続き成長を見込む（売上高は120億円台に）

連結（単位：百万円）

	2023年3月期	2024年3月期	前年度比	
			増減	増減率
売上高	11,025	<b>12,700</b>	+ 1,675	+ 15.2%
営業利益	1,297	<b>1,440</b>	+ 143	+ 11.0%
（営業利益率）	11.8%	11.3%	—	—
経常利益	1,356	<b>1,475</b>	+ 119	+ 8.7%
（経常利益率）	12.3%	11.6%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	901	<b>1,260</b>	+ 359	+39.7%
1株当たり 当期純利益（円）	46.84	<b>65.63</b>	+18.79	+ 40.1%
自己資本利益率 ROE（%）	15.3	<b>17.7</b>	—	—
配当額（円）	15.5	<b>16.0</b>	+0.5	—
EBITDA	1,372	<b>1,564</b>	+192	+ 14.0 %

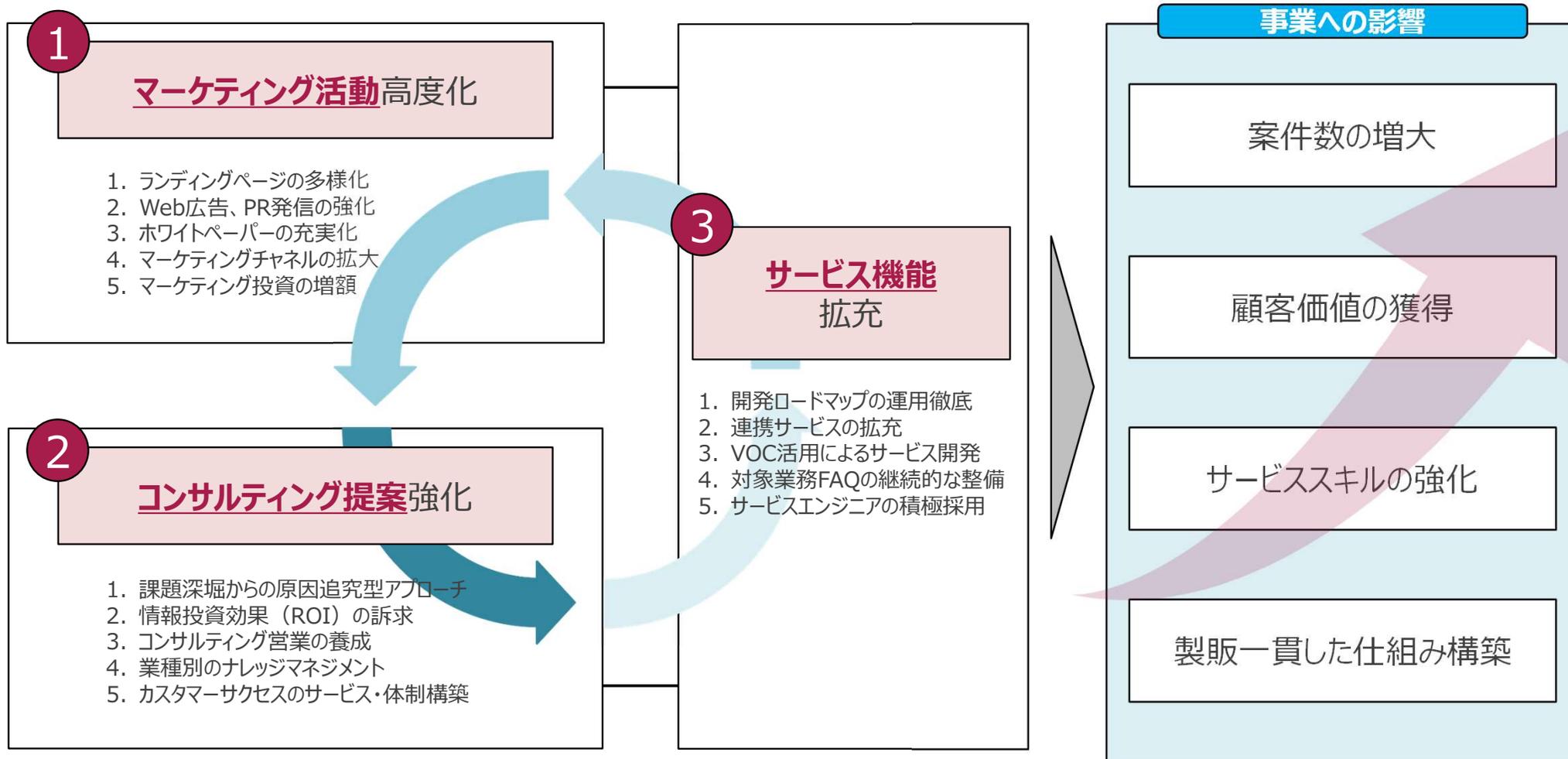
# 2024年3月期重点施策：システムコンサルティング & インテグレーション

積極的にエンジニアを採用・育成することで売上高・営業利益の増大につなげる

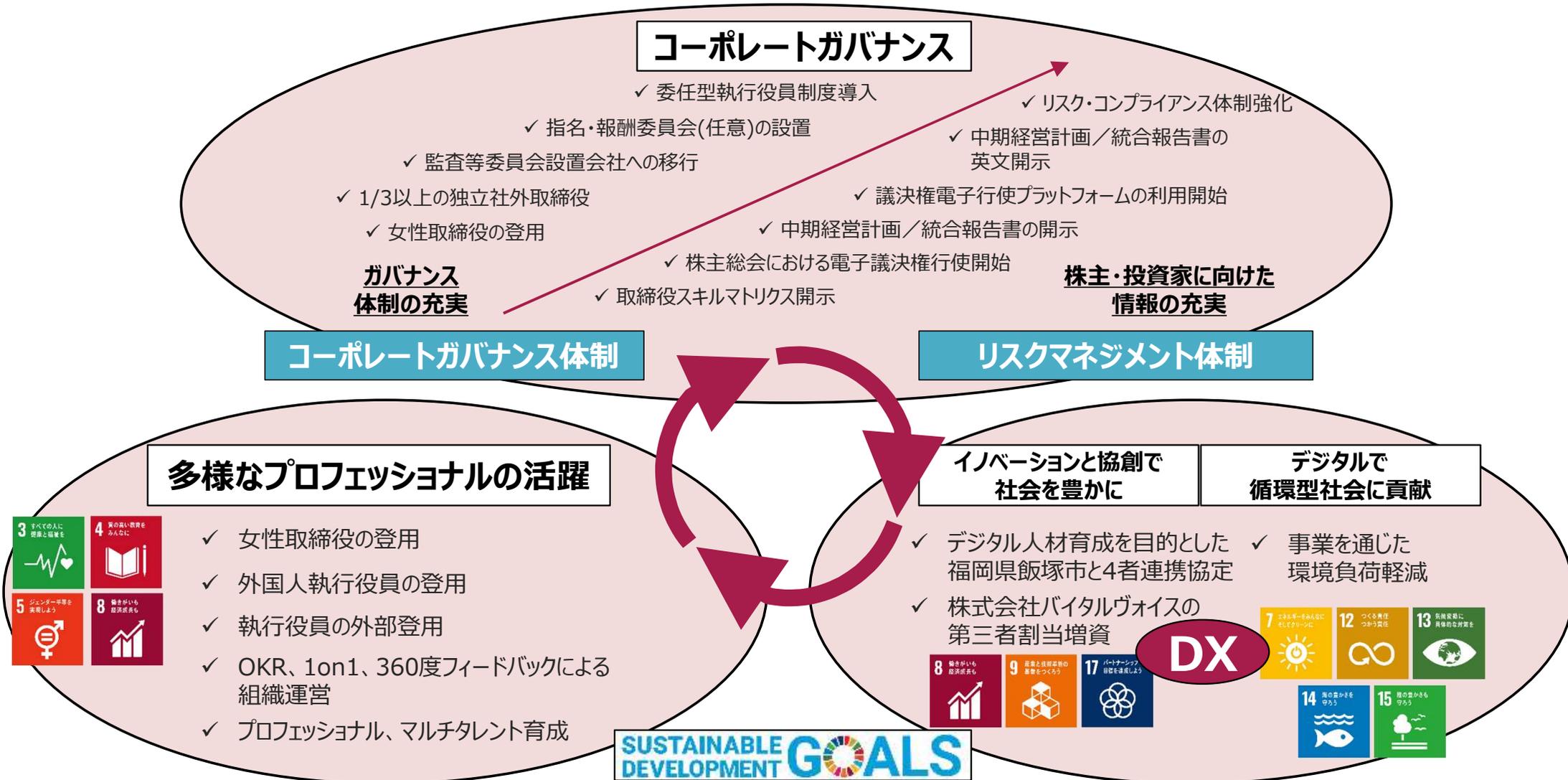


# 2024年3月期重点施策：プラットフォーム

## マーケティング投資とコンサルティング提案の強化により利用顧客増大につなげる



# コーポレートガバナンス・持続可能な社会に向けた取り組み



## 3. 中期経営計画の進捗

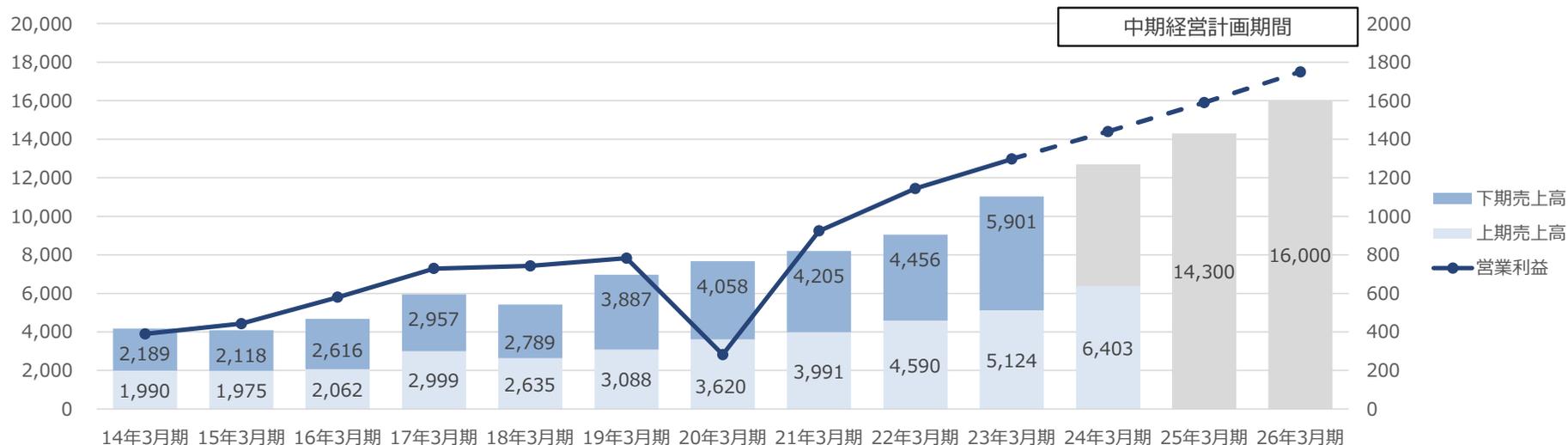
---

1	決算概要（2024年3月期第2四半期）
2	業績見通（2024年3月期）と下期重点施策
<b>3</b>	<b>中期経営計画の進捗</b>
4	参考資料

# 2024年3月期 中期経営計画に対する進捗

## 中期経営計画の目標に対して順調に進捗

	2023年3月期 実績		2024年3月期 上期実績	2024年3月期 見通	2023年3月期~2024年3月期 CAGR (年平均成長率)		2026年3月期 目標値	2023年3月期~2026年3月期 CAGR (年平均成長率)
売上高	110億円	➡	64億円	127億万円	15.2%	➡	160億円	13.2%
営業利益	12億9千万円	➡	8億6百万円	14億4千万円	11.0%	➡	17億5千万円	10.5%
営業利益率	11.8%	➡	13.4%	11.3%	-0.5Pt	➡	10.9%	-0.9pt
ROE	15.3%	➡	13.1%	17.7%	+2.4Pt	➡	14%以上	—



## 4. 参考資料

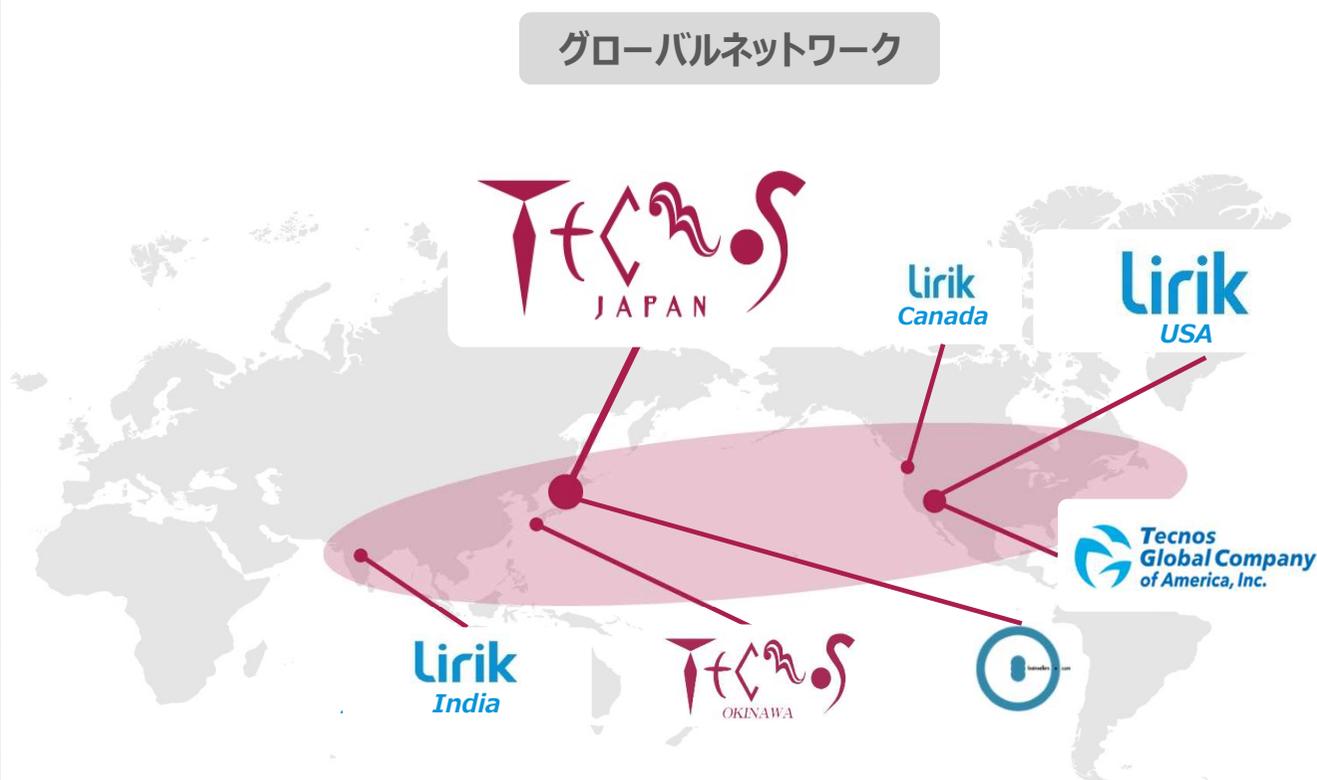
---

1	決算概要（2024年3月期第2四半期）
2	業績見通（2024年3月期）と下期重点施策
3	中期経営計画の進捗
4	<b>参考資料</b>

# 会社概要

テクノスジャパンは、「企業・人・データをつなぎ社会の発展に貢献する」をグループミッションとし、「企業のDX推進のためのソリューション・サービスを提供」する会社です。

会社名	株式会社テクノスジャパン (英文名: TECNOS JAPAN INCORPORATED)
本社	〒163-1414 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー14階 TEL 03-3374-1212 (代表)
設立	1994年4月27日
資本金	5億6,252万円
証券コード	3666
市場区分	東京証券取引所 スタンダード市場
代表者	代表取締役 社長執行役員 吉岡 隆
従業員数	単体415名 連結727名 ※2023年10月1日現在
URL	<a href="https://www.tecnos.co.jp/">https://www.tecnos.co.jp/</a>



# テクノスジャパンのソリューション・サービスおよび沿革

企業のDX推進のためのソリューション・サービスを提供

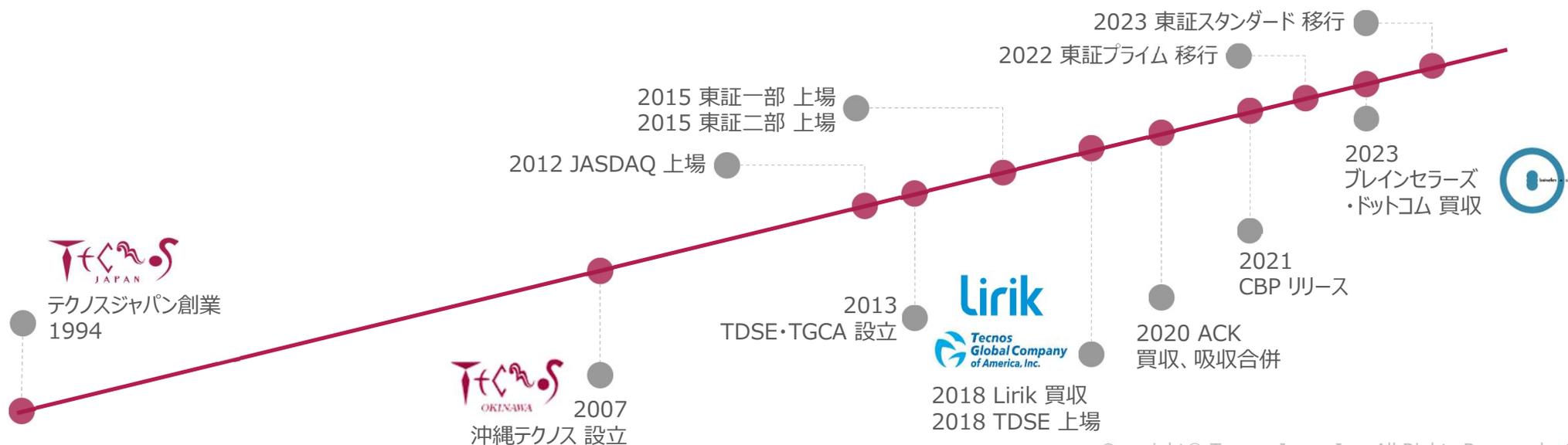
システム  
コンサルティング&  
インテグレーション

創業期からの成長ドライバー： **ERPソリューション**

M&Aで確立した第2の成長ドライバー： **CRMソリューション**

プラットフォーム

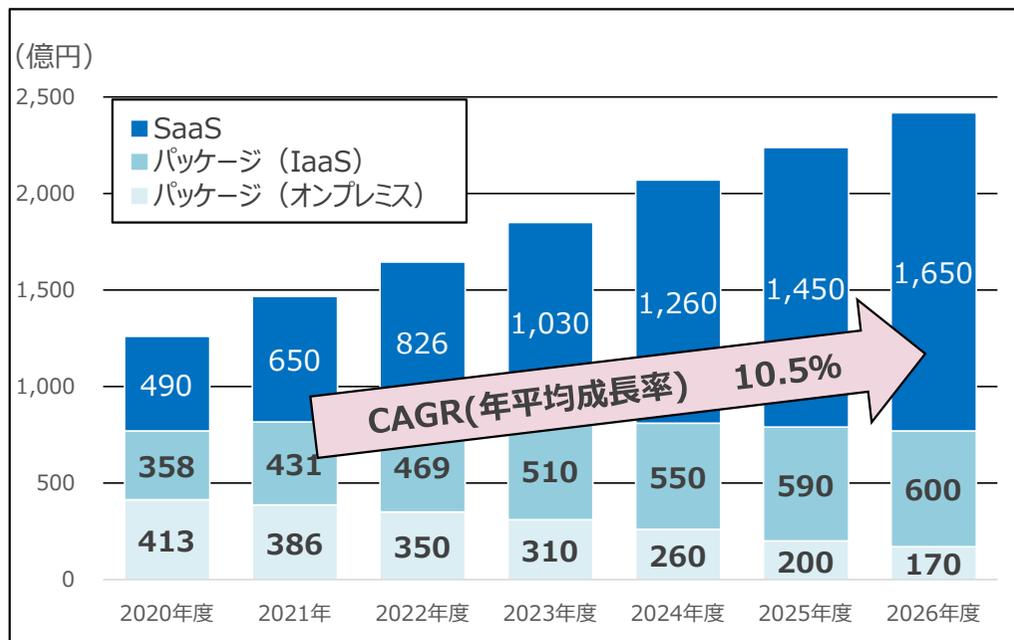
自社開発の第3の成長ドライバー： **CBPサービス**



# 市場認識

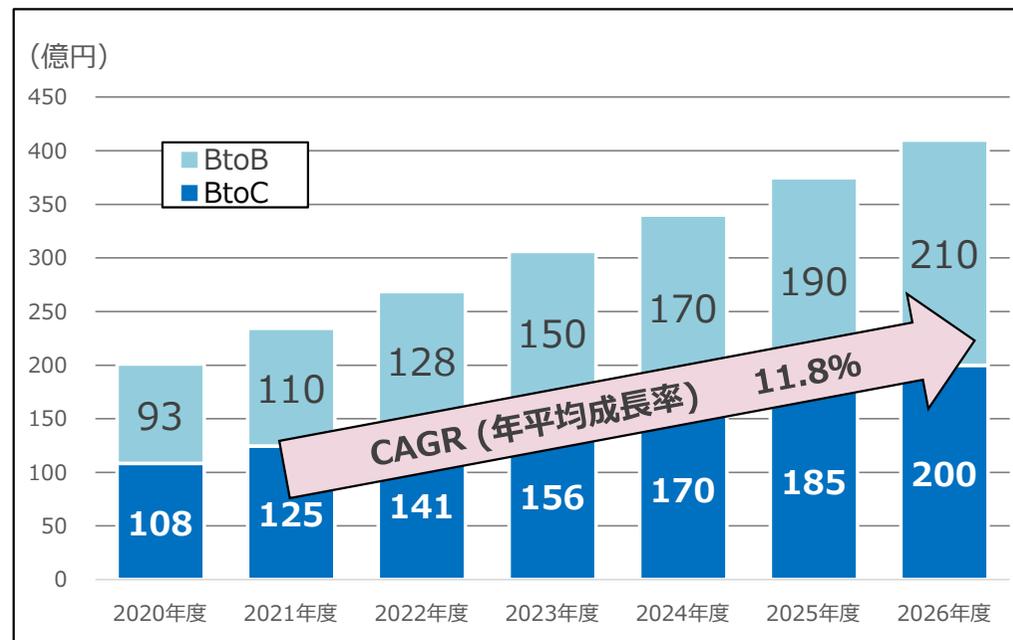
ERP、CRMともに、市場の高い成長が見込まれています

図. ERP市場規模推移および予測：  
提供形態別（2020～2026年度予測）



出典：ITR「ITR Market View : ERP市場2023」  
\*ベンダーの売上金額を対象とし、3月ベースで換算、2022年以降は予想値。

図. 統合型マーケティング支援市場規模推移および予測：  
BtoB、BtoC別（2020～2026年度予測）



出典：ITR「ITR Market View : SFA/統合型マーケティング支援市場2023」  
\*ベンダーの売上金額を対象とし、3月ベースで換算、2022年以降は予想値。  
※CRM市場の一分野である統合型マーケティング支援市場規模の推移および予測数値を引用

CBPは、ERP・CRMの成長市場に含まれていると認識しております

# 企業理念 (MVV) / 持続的な企業価値向上と社会への貢献

MISSION (ミッション)

企業・人・データをつなぎ社会の発展に貢献する

VISION (ビジョン)

LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE  
～つながる社会の未来を切り拓く～

VALUE (バリュー)

顧客志向・グローバル志向 / 個性融合のチームワーク / 創造、変革、改善

「企業向け経営・業務システムにおけるDX推進事業」  
持続的な企業価値向上 / 持続可能な社会への貢献

## 社会の要請に対応した経営の高度化

- ESG経営
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 産官学、地域社会との協創の推進

## 事業活動を通じた社会課題の解決

- お客さまへのサービスを通して、「企業経営・業務の高度化」と「業界バリューチェーンのDX」を推進し、社会課題の解決に貢献
- 「ERP×CRM×CBP」を軸にクラウドサービスでつながる社会を目指す



## 多様なプロフェッショナルの活躍

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



イノベーションと協創で  
社会を豊かに

デジタルで  
循環型社会に貢献



# 社長プロフィール

【生年月日】 1976年11月16日

【出身地】 東京都

1999年4月 テクノスジャパン入社

2013年4月 当社東日本ソリューションセンター長  
SCMグループ長

2014年10月 当社執行役員 東日本ソリューションセンター長

2016年4月 当社執行役員 西日本ソリューションセンター長

2016年6月 当社執行役員常務

2016年11月 当社ソリューションセンター長

2017年4月 当社執行役員社長

2017年6月 当社代表取締役執行役員社長

2019年6月 当社代表取締役社長

2023年4月 当社代表取締役社長執行役員（現任）

代表取締役社長執行役員  
吉岡 隆



# 免責事項

- 本資料にて開示されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、将来の数値・数額、事実の認識・評価などといった、将来に関する情報をはじめとする歴史的事実以外のすべての事実は、当社が本資料の発表日現在入手している情報に基づき、現時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎としているものであります。
- また、見通し、予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提を使用しています。
- これらの事実または前提については、その性質上変化することがあり、客観的に正確であるという保証も、また将来その通りに実現するという保証もありません。これらの事実または前提が、客観的には不正確であったり将来実現しないこととなりうるリスクや不確定要因は多数あります。
- 従いまして、本資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

機関投資家・アナリスト様向けに、個別IRミーティングを受け付けていますので、下記メールアドレスへお問合せください。

株式会社テクノスジャパン 広報・IR担当

〒163-1414 東京都新宿区西新宿3-20-2東京オペラシティタワー14階

Mail [investors@tecnos.co.jp](mailto:investors@tecnos.co.jp)

---

証券コード:3666  
株式会社テクノスジャパン



LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE

～ つながる社会の未来を切り拓く ～